

『論語』と『千字文』—思想、文学、書籍の伝来—

「人生を豊かにする中国古典—学びなおす歴史と文化」

講師 湯浅邦弘先生 2026.5.13

(午前の部からマイクの故障で地声による講義で、湯浅先生は喉を痛められ、聴講者の一人がのど飴をプレゼントというほほえましいハプニングがあり、拍手でした。)

講義は前回の復習、始皇帝と徐福の不老不死の講義から始まりました。

古代中国には年齢800才という長寿者がいるとの中国古文書にあるとのことですが、植物では樹齢800年は有りですが、人間では???

さて、本日のテーマ論語と千字文です。

千字文の漢字がらみで、今回の国語学習指導要綱に漢文が入っているが、漢文を大切にせねばならないとの先生の見解です。日本の文学作品は漢文の素養がなければ、十分に読み切れないと。

私など、高校の漢文の授業はあまり真剣に取り組まなかったのが後悔しており、今でも当時の教科書を持っているので、再度勉強しようと思いましたが、はて？

日本語の表示は漢字と仮名で、漢字があるから読むスピードが速く出来る大きなメリットありと思っていたので、漢字学習、重要論大いに納得でした。

論語による儒教は、国家認定の学問とお聞き、テレビ番組で見た「三国志」で戦国の中でも儒学生が大切に守られていたこと背景を理解しました。

湯浅先生ご厚意による論語をはじめ、中国古典の展示を皆さん

で真剣に見学し、竹簡がいかなるものかなど大いに勉強になりました。

論語の教えは意味がとても深く、これを守るには「三省する」が必須のようです。

なんと本日はトランプ大統領が中国訪問し習国家主席と会談しますが、儒教精神にのっとり世界の平和、安定に向けて話し合ってもらいたいものです。

以上

